

新春雑感

大川創業株式会社
代表取締役会長

大川 真一郎

今年も年頭所感の機会を与えられ筆を走らせています。

私は耳学で育ち、あまり本を読まない性質なのでテクノネットもつい積ん読程度なのに、アンコールが来たという事は読んで頂いた方が何人かおられ、その内の何人かがリピートを要望されたのかと思うと感謝の念で一杯です。

実はこの「新春雑感」、当社では「年頭所感」を20数年前から始めましたが、当社の元専務がこれを本にしたらと言われた事もあるが、過去にサンヨーを退職し、本家の家業を継ぐと言った時に、沢山の人間に辞めないでと引きとめの手紙を頂いた。お礼がえしに退職金の中から「わが技術部に栄光あれ」を出版し、私のアイデアの秘密はここにあると証しました。

本家を継いで1年目、土地3千坪を遺して亡くなった前社長の相続税1億5千万円を支払う為に15億円を借金して始めたボウリング場経営に失敗し、いよいよ人生最後と思ってクラリネットを吹いた時、実父の「支払いは金利だけでよい」との声に勇気づけられ、不良債権を克服できた事を書いた「なにわスッポン商法」(ボウリング再建記)。「わが技術部に栄光あれ」は技術編とすれば「なにわスッポン商法」は事業編。精神編と云うべき「I LOVE ゆーもあ」「続I LOVE ゆーもあ」。そして音楽編「踊るオタマジャクシ」(だからクラシックは面白い)と五冊を出版。CDも「モーツァルト・クラリネット協奏曲」「モーツァルトとブラームスのクラリネット五重奏曲」「クラリネットとチェロとピアノの為にベートーヴェンとブラームストリオ」「クラリネットと歌の為にシューベルト・モーツァルトのトリオ」「ジャズ大川進一郎とその仲間達」5枚作ったが完売できず。人生も終盤に来ているので興味を示す人に差し上げる事にしています。次作は「オペラハウスのできるまで」を現在執筆中です。

さて、昨年書き初めは「願いは叶う 祈る力で」と書きましたが、大阪桐蔭高校は大会史上初となる甲子園三連覇はなりません。春と夏とは殆んど同じ選手が出場します。三連覇となれば年を跨ぐので選手が入れ替わる。大阪桐蔭高校はその上に3番、4番バッターの強打者が共に指骨折して欠場した。下馬評では呼び声高かったが、やはり飛車、角行抜きでは如何ともし難く涙を飲みました。苦しい時の神頼みだけでは駄目だという事も分かりました。しかし、その直後の4月の全国選抜高校ラグビー大会で全国優勝しました。それより凄いのが4年前京大合格者

が24名。我が母校の四条畷が25名で1名だけ勝っていましたが、昨年は東大4名、京大64名、阪大19名。我が四条畷は東大0、京大11名、阪大35名と勝ったのは阪大のみ。京大ではダントツに負けています。やはり何かが違うのでしょうか。そして校長は今年は東大・京大合わせて100名と豪語しておられます。特に医学部に関心があるようです。野球の殿堂・甲子園で全国に名が知れ、優秀な少年・青年を中高一貫教育で育て上げる事が目標で、野球はその優秀な生徒に来てもらう為の引き立て役であったといえます。

昨年の癸巳の年は「水四方より地中に流入する形が癸、従って測る。」ひょっとしたらシェールオイルガス、メタンハイドレートの掘削を意味するのか、尖閣諸島、竹島、北方領土の測量を開始するのか、と書きましたがいずれも時期尚早でした。水四方から地中に入り台風18号、26号の日本列島襲来そして山崩れ土砂災害は当然なのに、シェールオイルガスの開発とか未来の明るい方ばかり目を向けて、災害の方に目を向けなかった、私の見逃しのミスです。深くお詫び致します。

さて、今年の甲午の年は安岡正篤先生によると「甲は鱗、つまり鎧をつけた草木の芽が、その殻を破って少し頭を出したという象形文字で、これを人事に適用すると旧体制が破れて、革新の動きが始まる事を意味している。そこでこれを実践的に考えると、その自然の機運に応じてよろしく旧来のしきたりや陋習を破って、革新の歩を進まねばなりません。甲は『はじめ』を意味し、『はじまる』とも読む。旧年の殻を破って新しい形勢が始まる。新政令も出る年という事も意味する。甲は岬にも通じ『内乱になれる』とも読む。また甲はその芽がぐんと伸びると申となる。一方午は一と十で、上の字画は地表、下の十は陰が陽を冒して上昇する象である。つまり、一は陽気、十は陰気が下から突き上げて、まさに地表に出ようとする象形文字である。従って「午は忤なり」で背く、逆らうという意味になる。」とされています。そこで、甲午(きのえうま コウゴ)の年は新しい勢力が芽生えても午は牛ではないので、新しい勢力に対抗する反対勢力が下から突き上げて来ても地表に出る。即ち、天下をひっくり返す事は今年は起こらないが、改革により大躍進すべき年という事です。昨年、自民党は衆参で単独過半数を獲得し圧勝しました。政党別に見ても支持率が過半数に達していない自民党が何故圧勝するのか。それは小選挙区制度の特徴です。例えば1位の政党の

支持率が40%とします。2位の支持率が35%、その他が25%とすると1位と2位の差は僅かに5%しかなくても、小選挙区は1名しか当選しませんから、1票でも多い方が独占します。1人区は全てオール勝ちとなってしまいます。それを圧勝したからといって横暴な事をする国民は立ちあがるでしょう。渡辺喜美の「みんなの党」は、消費税を5%から今年3%にアップして8%に、そして将来10%にするという自民党案に対して、消費税5%のままでやっていけるというのに国民は自民党を支持しました。アップ分は福祉に回すというのに国民は騙されました。本当の話、大半はユダヤ資本に流れます。リーマンショック以来永年のデフレ現象で諦めムードが蔓延し、国民総無気力、無抵抗になってしまっているのでしょうか。そこへ秘密保護法案がどんどん拡張していけば、知らない内に世界第三次戦争に巻き込まれているかも知れません。小泉首相時代、郵政民営化で世界一を誇る郵貯預金がユダヤ資本に流れてしまうと反対した日本国を憂う良識派の平沼赴夫・渡辺美智雄・亀井静香議員等は自民党を追い出されました。中曽根康弘がやった国鉄民営化、NTTの民営化は国内だけのこと。金は外国に流れないが、郵貯の金は日本の国益の為に使用されず外国で使用される。預金者は財産が殖えるなら、どこで使われたって構わない。困るのは庶民なのです。消費税を10%に上げる事よりも全税収の70%が社会保障費に出る支出を抜本的に見直す事が重要です。甲の年、今一度原点に戻って、人工透析や糖尿病等その人が生きている限り投与しなければならない薬をそれらの病気を治らないものと決めつけずに完治できるよう、研究者は必死になって取り組んで頂きたいと思います。私の知人が小腸癌で手術したと聞きました。小腸で血液を作り、心臓で身体の隅々まで血液を送る重要な器官、臓器。それだけに神はこの2つには癌にならない様にされている。なのに人間は癌になる恐れがあると小腸の手術をした。これにも社会保障費が支払われています。

本家を継ぐために昭和41年から44年のたった3年しか鳥取三洋に在職していなかった間に50もの新製品を作り、私の抜けた後、15年たっても50商品は開発されていない。その中で特に私が考えた四つ折りのホームコタツは100万台売れたという。私の人生で最も創造性を発揮する事ができた鳥取三洋を辞して故郷に帰って直ぐに元部下から日本では未だアスベストが使われているが、アメリカの雑誌でみるとアスベストは大変危険なので使用禁止になっている。アスベスト（石綿）を使わないようにと忠告を受けました。お蔭で昭和47年に建てたボウリング場とダイエーを核とするショッピングセンターにアスベストは使用しな

かったので、解体して京阪百貨店とダイエーをキーとするポップタウン住道オペラパークを建築する際に、無駄な対策費が不要で大いに助かりました。チッソ投棄による水俣病しかり。ウランによる原発汚染、マンガンによるパーキンソン病しかり、常に後手に回っているが、開発の時点で他国文献でチェックしたり研究して公害を出さない研究を同時にやってもらいたい。現在の空調方式だけに頼ればフロンによるオゾン層の破壊と地球温暖化は解消しないし、電子レンジだって今に公害を引き起こします。私は大阪大学工業会賞のプレゼンターとして毎年金一封と賞状を授与する役を務めています。昨年一口コメントとして京大の山中教授のノーベル賞受賞に因み、ノーベルはダイナマイトという当時としては原発より恐れられた兵器を開発と同時にダイナマイトは海水中で中和する事も発見し、恐怖の火薬から単なる山の掘削道具化し巨万の富を得ました。世界中が核禁止、原発廃止の合唱の中、ウランを中和する薬を開発して阪大がノーベル賞の何百倍もの賞金を渡す主催者になって欲しいと訓示しました。ウランが単なる発電機に利用するだけの価値になり下っただけでも世界的効果は抜群です。原油価格が金融投資家の対象である限りマネーゲームによって高騰する中、超安価な原発施設が仏国と同じくどの街角でも見られる様になりたいものです。

尖閣諸島の周りにシェールガスオイルが埋蔵している事が解って以来、中国が急に領土権を主張しました。島は神代以来自然のもの。島は元々領有権を主張する以前からあった。双方の主張は平行線のまま争いがいつのまにか、憎しみに変わり戦争になれば破壊兵器を開発した連中の思う壺となり、日中共に破滅してしまいます。仲良く協同開発し、原油に代わるシェールオイルガスを人類に平等に分配すれば平和裏に両国民は電気代は松下幸之助氏のいう水道代程度になり、当然消費税は不要となろう。シェールオイルガスやメタンハイドレート掘削技術は日本は世界一のだから、国策として何よりも新資源の発掘を最優先してもらいたいものです。原油価格の高騰にただ従っているだけの日本とは情けない。首相自ら電気代を水道代にまでにしましょう。国民を豊かにすると大号令をかけられないのでしょうか。世界の国が1千億円規模で日本の太陽光発電に投資しようとする昨今、シェールオイルガス、メタンハイドレートと輸入しなくてもよい資源が沢山あって電気代がタダになれば本当に国民は豊かになります。

では今年も良いお年を！尚、今年の書き初めは「工夫と努力で奇蹟を生む」と書きました。

(電気 昭和32年卒)